かみふらの

2012 11 NO.642
こうほう

表彰　功績をたたえて　町表彰式
選挙　上富良野町長選挙・上富良野町議会議員補欠選挙
福祉　特集『高齢化』人とのつながりの中で
歴史　白銀荘　80歳おめでとう！
交流　友好都市提携の街　三重県津市を訪ねて
議会　議会と語ろう　第3回上富良野町議会報告会を開催します

み～んな大爆笑！
～第65回上富良野町立東中中学校学校祭～
広報担当撮影

表彰

功績をたたえて

町の発展や地方自治の振興など、さまざまな分野で町に貢献された方をたたえ11月3日(土)文化の日に、社会教育総合センターで表彰式が行われました。

自治功労　2名

松田（まつだ）　達雄（たつお）　さん
丘町1丁目(74歳)

選挙管理委員会委員として、永年にわたり地方自治の振興に貢献されました。

土田（つちだ）　栄吉（えいきち）　さん
西4線北28号(73歳)

選挙管理委員会委員および農業委員会委員として、永年にわたり地方自治および農業の振興に貢献されました。

社会貢献賞　4名

和田（わだ）　昭彦（あきひこ）　さん
東3線北26号(70歳)

上富良野町議会議員および上富良野町教育委員会委員として、永年にわたり地方自治および教育の振興に貢献されました。

芳賀（はが）　正夫（まさお）　さん
西町1丁目(75歳)

保護司として、永年にわたり社会福祉の振興に貢献されました。

赤川（あかがわ）　昇（のぼる）　さん
錦町2丁目(69歳)

消防団活動を通じ、永年にわたり消防業務の向上に貢献されました。

及川（おいかわ）　修一（しゅういち）　さん
本町3丁目(65歳)

消防団活動を通じ、永年にわたり消防業務の向上に貢献されました。

感謝状（特別功労賞）　1名

日本画家
後藤（ごとう）　純男（すみお）　さん（82歳）

わが国を代表する日本画家として、画業60周年を迎えられるとともに、後藤純男美術館開館から15周年、同美術館新館開館から10周年の記念すべき年を迎えられました。

この間、芸術・文化の振興のみならず、地域経済の活性化など多大な貢献をされるとともに、この度、日本画「春映大和」の寄贈を賜りました。

教育委員会表彰

教育委員会では、町の文化振興に貢献された方、文化活動や各種スポーツ大会で優秀な成績を収めた団体・個人を表彰しました。

文化賞

1名・1団体

東中清流獅子舞保存会 様

永年にわたり、東中地区の文化振興と特色ある教育活動を実践し、その活動に高い評価を受け、町の諸行事などにも積極的に協力され、伝統文化の継承と文化の発展に多大な貢献をされました。

志賀（しが） 記代（きよ） さん

富町1丁目(72歳)

永年にわたり、文化連盟役員として町の諸行事などにも積極的に協力され、こまくさ会の代表として七宝焼きの技術向上と優秀な人材の育成に努め、文化の発展に多大な貢献をされました。

文化功労賞

2名

小野寺（おのでら） 敏昭（としあき） さん

南町3丁目(82歳)

永年にわたり、ホーム指圧健生会の代表として会員の育成と技術研修などに尽力され、優秀な人材の育成に努め、文化連盟活動にも積極的に参加され、文化振興に貢献されました。

鈴木（すずき） 努（つとむ） さん

栄町3丁目(78歳)

永年にわたり、このみち俳句会の会員の育成と技術研修などに尽力され、俳句愛好者の育成に努め、文化連盟活動にも積極的に参加され、文化振興に貢献されました。

スポーツ功労賞

2名

梨澤（なしざわ） 節三（せつぞう） さん

旭町3丁目(75歳)

第27回北海道マスターズ陸上競技選手権大会の男子75歳以上の部円盤投および砲丸投で優勝され、日本マスターズ陸上競技会連合に20年以上在籍し、生涯スポーツ推進の見本となり、スポーツ振興に貢献されました。

大窪（おおくぼ） 利明（としあき） さん

緑町1丁目(70歳)

上富良野スキー連盟の理事を21年務め、スキー連盟の普及・発展に貢献されました。

文化奨励賞

1名

井口（いぐち） 椎菜（しいな） さん

泉町2丁目(17歳)

第43回全道書道コンクールペン字の部(高校生の部)で最高賞を受賞されました。

スポーツ奨励賞
15名・5団体

吉村　海斗（よしむら　かいと）　さん
新町4丁目（7歳）
第32回北海道少年少女空手道錬成大会組手の部で準優勝され、第12回全日本少年少女空手道選手権大会に出場されました。

大塚　朝日（おおつか　あさひ）　さん
旭町4丁目（8歳）
第32回少林寺拳法北海道大会兼全国大会北海道地区選考会の規定単独演武小学生見習～7級の部で優秀賞（2位）に入賞されました。

國本　空良（くにもと　そら）　さん
新町5丁目（9歳）
第32回少林寺拳法北海道大会兼全国大会北海道地区選考会の規定単独演武小学生6級～4級の部で敢闘賞（4位）に入賞されました。

湯場　俊介（ゆば　しゅんすけ）　さん
大町1丁目（12歳）
第32回少林寺拳法北海道大会兼全国大会北海道地区選考会の規定単独演武小学生3級～1級の部で優良賞（3位）に入賞されました。

山内　沙耶佳（やまうち　さやか）　さん（11歳）
山内　智晴（やまうち　ともはる）　さん（42歳）
宮町2丁目
第32回少林寺拳法北海道大会兼全国大会北海道地区選考会の自由組演武親子の部で優秀賞（2位）に入賞されました。

高松　大樹（たかまつ　だいき）　さん
富町2丁目（15歳）
第14回北海道ジュニア陸上競技選手権大会男子ＡＢＣ共通円盤投で6位に入賞されました。

佐藤　隆亮（さとう　たかあき）　さん
中町3丁目（17歳）
第65回北海道高等学校陸上競技選手権大会男子砲丸投げで優勝され、全国大会に出場されました。

坂巻　太一（さかまき　たいち）　さん
栄町3丁目（17歳）
第28回北海道高等学校新人陸上競技大会男子400ｍハードルで優勝されました。

安田　賢司（やすだ　さとし）　さん
緑町1丁目（16歳）
第28回北海道高等学校新人陸上競技大会男子3千ｍ障害で第2位に入賞されました。

受賞おめでとうございます

新関　涼介（にいぜき　りょうすけ）　さん
緑町1丁目（17歳）
第28回北海道高等学校新人陸上競技大会男子5千ｍで第2位に入賞されました。

大道　聖斗（だいどう　まさと）　さん
桜町3丁目（16歳）
第28回北海道高等学校新人陸上競技大会男子5千ｍで第7位に入賞されました。

谷口　創大（たにぐち　そうた）　さん
本町5丁目（17歳）
第28回北海道高等学校新人陸上競技大会男子3千ｍ障害で第7位に入賞されました。

天野　小春（あまの　こはる）　さん
旭川市永山7条（16歳）
第28回北海道高等学校新人陸上競技大会女子4×100ｍリレーで第2位に入賞、女子4×400ｍリレーで第5位に入賞、女子200ｍで8位に入賞されました。

長谷川　大也（はせがわ　ひろや）　さん
南町3丁目（15歳）
第28回北海道高等学校新人陸上競技大会男子4×400ｍリレーで第4位に入賞されました。

第3地対艦ミサイル連隊　様
第52回北海道銃剣道選手権大会団体戦成年第2部で第3位に入賞されました。

和田　祐子（わだ　ゆうこ）　さん
富良野市緑町（28歳）
第52回北海道銃剣道選手権大会個人戦女子の部で準優勝されました。

宮﨑　綾（みやざき　あや）　さん
南町4丁目（23歳）
第52回北海道銃剣道選手権大会個人戦女子の部で第3位に入賞されました。

かみふ水上チーム　様
第14回全国フロアカーリング交流大会フォースの部で準優勝されました。

かみふＦＣチーム　様
第14回全国フロアカーリング交流大会フォースの部で第3位に入賞されました。

かみふ福井チーム　様
第14回全国フロアカーリング交流大会フォースの部で第4位に入賞されました。

「大切に　未来へつなぐ　その一票」

平成24年度上富良野町明るい選挙啓発標語　最優秀賞

東中小学校5年　浜本陽向さんの作品

上富良野町長選挙
上富良野町議会議員補欠選挙

まずは、投票に行こう!!

問合せ　上富良野町選挙管理委員会

℡㊺6400　FAX㊺5362　http://www.town.kamifurano.hokkaido.jp/

投票日は12月2日(日)

投票日　12月2日(日)
投票時間　7時～20時
一部の投票所は18時まで

投票できる方

○日本国民で、上富良野町の選挙人名簿に登録されている方
○平成4年12月3日までに生まれた方
○平成24年8月26日以前に転入届をして、引き続き町内に住所を有している方

※次の欠格事項に該当する場合は投票できません。
・成年被後見人
・受刑中・仮出獄中である
・選挙犯罪により刑の執行猶予中・選挙権停止中である

投票所入場券

投票所入場券は11月28日ごろ、選挙人名簿に登録されている方へ、世帯全員分(最大6人まで)をはがき一枚にまとめて郵送します。

投票に行くときは、投票所を確認のうえ、本人分の入場券を切り離してお持ちください。

また、入場券を紛失した場合でも、投票所の受け付けで本人と確認できれば投票できます。

※町内で転居した人は、11月21日現在の住所の投票所になります。

期日前投票

投票日当日に投票所に行けない方は、期日前投票ができます。

入場券をお持ちになり、投票所入り口に用意している期日前投票請求書に記入のうえ、投票してください。

期間　11月28日(水)～12月1日(土)
時間　8時30分～20時
場所　役場1階　相談室

※土曜日も投票できます。
※満20歳前に投票する場合は不在者投票になります。

代理投票

自分で投票用紙に記入できない方は、投票所の受け付けで申し出れば、係員の代筆により投票できます。点字で投票される方も、投票所の受け付けに申し出てください。

不在者投票

次の場合は不在者投票が可能です。

○当日や期日前に投票できない方は、期日前投票期間中、滞在先の選挙管理委員会で投票できます。
○病院などに入院・入所中の方は、都道府県選挙管理委員会が指定した施設であれば、その施設で投票できます。各施設にお問合せください。
○身体に重度の障がいがある、要介護度5の認定を受けている方は「郵便等による不在者投票」が可能です。

「郵便等投票証明書」を添えて11月28日(水)までに請求してください。

※いずれも郵便での請求が必要となります。お早めに手続きください。

選挙公報

候補者の氏名、経歴、政見などを掲載した選挙公報を、12月1日(土)までに各世帯へ郵送します。

投票所と投票時間

◘投票所と対象地区

①上富良野小学校
大町1～4丁目、南町1～3丁目、宮町、本町、日の出第1

②社会教育総合センター
緑町、桜町、東町、新町、旭町、旭野

③上富良野町公民館
大町5丁目、富町、錦町、中町、西町、光町、島津

④上富良野西小学校
栄町、泉町、扇町、北町、日の出第2、日新、清富

⑤公民館富原分館
南町4丁目、丘町、向町、富原

⑥東中多世代交流センター　東中

⑦公民館草分分館　草分

⑧公民館江花分館　江花

⑨公民館江幌分館　江幌、静修

⑩公民館里仁分館　里仁

◘投票時間
投票所①～④　7時～20時
投票所⑤～⑩　7時～18時

特集

『高齢化』人とのつながりの中で

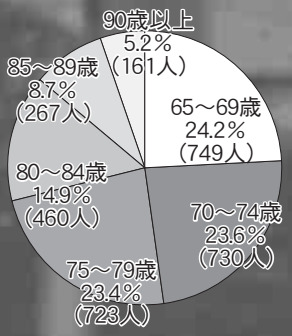
年を重ね、老いていく。生きている以上、誰もが避けて通れない現実。そして、少子化、長寿命化に伴い、とどまることのない「高齢化」。それは、私たちの未来を考えるうえで、重要なテーマです。

高齢者はどんな思いで生活しているのか、私たちには何ができるのか、先日まとめられた高齢者実態調査、学校での取り組み、高齢者と民生児童委員、地域包括支援センターの担当職員への取材を通じて考えます。

65歳以上人口と高齢化率

	人口総数	65歳以上	高齢化率
平成24年	**11,738人**	**3,090人**	**26.3%**
平成23年	11,729人	3,010人	25.7%
平成20年	12,226人	2,905人	23.8%
平成15年	12,738人	2,631人	20.7%
平成10年	13,150人	2,158人	16.4%
平成5年	13,238人	1,760人	13.3%

65歳以上年齢別



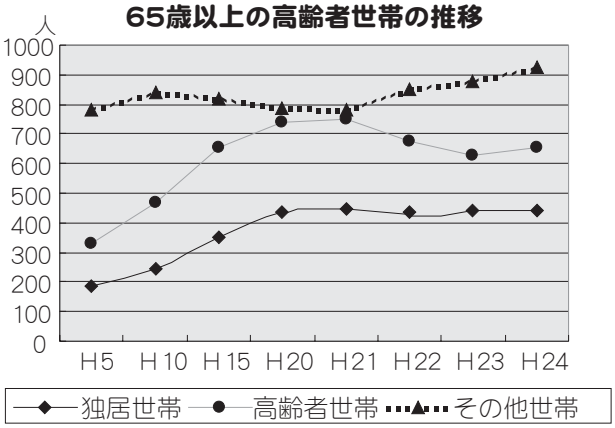
世帯区分

単位　世帯

	世帯総数	65歳以上がいる世帯総数	独居世帯	高齢者世帯	その他世帯
平成24年	**5,307**	**2,023**	**440**	**656**	**927**
平成23年	5,240	1,944	439	627	878
平成20年	5,381	1,965	435	742	788
平成15年	5,359	1,823	350	653	820
平成10年	5,232	1,549	245	466	838
平成5年	4,859	1,295	186	329	780

＊独居世帯は、施設入所者除く。
＊高齢者世帯は、対象者以外の世帯全員が65歳以上。

65歳以上の高齢者世帯の推移



独居・高齢者世帯の男女別内訳

単位　人

	独居人数	独居男性	独居女性	高齢者世帯人数	高齢者世帯男性	高齢者世帯女性
平成24年	**440**	**131**	**309**	**1,300**	**634**	**666**
平成23年	439	124	315	1,269	624	645
平成20年	435	127	308	1,339	702	637
平成15年	350	90	260	1,138	619	519
平成10年	245	69	176	778	446	332
平成5年	186	50	136	541	-	-

今年の高齢者実態調査から

全人口が19年前の平成5年に比べ1千500人減っているのに対し、65歳以上の高齢者の人口は1千330人の増加。その結果、全人口に占める高齢者の割合を示す高齢化率は13.3％から26.3％に上昇し、およそ2倍となっています。

今後においても、団塊の世代が65歳以上となっていくことから、この増加傾向は続くと予測されます。

また、独居、高齢者のみの世帯の人数に至っては、2倍以上の伸びを示しており、あくまでも世帯構成上ではありますが、社会における高齢者の孤立化は進んでいるといえます。

高齢者への上富良野西小での取り組み

上富良野西小学校の６年生が、高齢者とのかかわりや交流、体験を通して、地域の高齢者福祉について理解し、相手の立場にたって自分たちに何ができるかを考え、実践していく学習を進めています。

全20時間の中で学習する内容としては大きなテーマですが、児童たちが学び、話し合い、取り組んできたことについてお知らせします。

主な学習内容

白内障メガネと重いベスト、足が動きにくくなるサポーターで「高齢者」を実体験。「重い～。歩きづらいよ～」

昼食会で高齢者と交流。2回目にはよさこいやクッキーのプレゼントがあり、みんな良い笑顔

今までのまとめを各班ごとに発表。休み時間や放課後に頑張ってまとめた力作ぞろいでした

高齢者について考え、知る

◆高齢者の現状と体験学習

授業では、まず「お年寄りってどんな人」など、身近な高齢者について考えました。それを踏まえ、7月4日には社会福祉協議会の持安事務局長を招いて町内の高齢者の現状について話してもらい、自分の知っていたこととの違いを照らし合わせました。この話を聞いて「閉じこもりになる人がいる」ということが分かったようです。

次の授業では、実際にお年寄りの状態を「体験」するため、車いすと高齢者擬似体験セットで学校内を移動してみました。車いすの操作は難しく、擬似体験セットを装着すると、体が重くて思うように動けず大変そうでした。

その経験から、児童の間でたくさんの疑問が浮かび、「直接話を聞いてみたい」との意見が出されました。

そこで、社会福祉協議会が行っている「ふれあい昼食会」に参加して、インタビューすることにしました。

地域の高齢者を理解する

◆ふれあい昼食会に参加（1回目）

7月19日、子どもたちは保健福祉総合センターかみんでの昼食会へ。

普段、自分の祖父母と一緒に暮らしていない児童も多く、どう接したらいいか戸惑う姿が見られ、緊張した表情で一緒のテーブルに着いていました。

この日は、わかば愛育園によるよさこいも披露され、一緒に鑑賞や食事をすることで、徐々に打ち解けてきた様子。昼食後には、事前に用意した質問をし、困っていること、嬉しいことなどを聞いていました。

自分たちができることからはじめよう！

◆ふれあい昼食会に参加（2回目）

学校に戻り、感想を話し合ったところ、こんな感想が。「参加した自分たちはお客さんだった。もっとかかわりたい」。また、踊りや食事を喜んでいたことから「今度は自分たちが楽しませたい！」という意見も出され、自分たちにできることを考えた結果、「あいさつはしっかりする」「食事の配膳などを手伝う」「出し物と手作りクッキーで楽しませる」という案にまとまりました。料理については先生も予想外で、驚いたとのことでした。

9月20日に参加した昼食会では、前回よりも積極的にかかわるなど、自分たちで決めたことをしっかり実践し、和やかな雰囲気に。感激した高齢者の中には後日、感謝の手紙やプレゼントを贈った方もおられました。

自分たちの考えを身近な所から

◆まとめ発表

10月23日、今までの学習を振り返りながら班ごとにまとめた壁新聞とスライドを、社会福祉協議会の方々を学校に招いて発表しました。

発表では、ひとり暮らしや閉じこもりになる高齢者が増えている現状に、「体が重い、辛いでは、外に出たくなくなると思う」という意見も。

また、すべての班で「あいさつをする」が実践目標に。これは昼食会で会話に困ったときに「あいさつから会話が始まり、話していると笑顔になってもらえて嬉しかった」という共通の経験から出たもの。「これからは、近所の高齢者にもまずあいさつから」との校長先生の言葉でしめくくりました。

子どもたちには日ごろ接点のなかった高齢者。この学習が、身近な存在に感じるきっかけになったと思います。

高齢者の皆さんはどんなことを思い、どんな毎日を過ごしているのか、独居世帯、高齢者世帯、その他の世帯の方々にお話を伺いました。話していただいたのは、皆さんのほんの一面であり、思いの一部分だとは思いますが、お聞きした内容をお伝えいたします。

みんなに配るのが楽しみ

金谷幸雄さん・幸子さん夫妻
（80歳）　（78歳）

2年前、長年住み慣れた草分地区から町営住宅に引っ越しました。

「月に1回、病院通い。お店が近くて買い物も楽だし、病院もすぐそばにある。生活するうえでの不自由はないし、とっても暮らしやすいですよ」

4人の子どものうち、末の娘さんが近所で暮らしています。

「毎日のように来るんですよ。様子見もあるんでしょうけどね。近くにいるということで安心です。特に困るような問題はありません」

2人きりで寂しくないですか、の問いには「誰かに気を遣うこともないし、2人だから気楽でいい」との答え。

農家をやめた今でも、夏は朝3時半に起きて畑に向かいます。たくさんの野菜と、趣味で作るしめ縄を「みんなに配って、喜んでもらうのが楽しみ」だそうで「昨日も、しめ縄25本配ったんだ」。そんな金谷さんにも唯一、気になることが。

「郡部から出てきて、周りの人を知らないせいもあるかもしれないけど、近所付き合いが何だか薄いような…。あいさつはするんだけど、それ以上にはねぇ…」

農家だったころは毎冬、さまざまな仕事をし、炭鉱で働いたことも。

「ずっと、働き通しだったけど、今は年金をもらってこうしていられる。昔に比べたら、こんないい世の中はない。『ああしてほしい、こうしてほしい』なんてことは、なんにもないですよ」

「孫たちと温泉旅行に行ったんだ」
笑顔がいっぱいのスナップ写真

ご近所はみんないい人ばかり

平井フミさん
（84歳）

6年前にご主人を亡くし、ひとり暮らしになりましたが、3年前に娘さんが実家に戻り、今は同居しています。

「ひとりで暮らしていたときは、主人を亡くした後ということもあり寂しかったですが、我慢でしたね。今は娘が一緒なので、やっぱり心強いです」

娘さんは介護の仕事をしているそうで、「『こういう症状が出たら、こういうことになるよ』ってアドバイスもくれるので助かります」。

週1回、お元気会（閉じこもり予防のサークル）に出向いてレクリエーションなどを楽しんだり、8のつく日はお寺に「御詠歌（ごえいか）」を唱えに行きます。また、月に1回は近所のお宅に集まって、仲のいい7～8人でおしゃべり。

別の町に住む娘さんからは「一緒に住もう」と言われているそうですが、今のところ引っ越す気はありません。

「40年間ここに住んでいます。住み慣れた街を離れる気にはなれません。ご近所がいい人ばかりで、『何かあったら言ってくださいね』って、いつも気に掛けてくれる。月に2回通っている病院も、気心が知れていますしね」

民生児童委員にお聞きしました

安川實委員（大町地区）

私の地域では、老人会とは別に「積年会」という組織をつくって、パークゴルフなどを月数回、年に1回は日帰り旅行にも出かけます。道路の花壇整備や草取り、公園の清掃などもしています。敬老会は対象年齢を下げて、なるべく多くの人が参加できるようにしていますし、ふれあいサロンも年3、4回開いています。

しかし、どんな行事をしても参加しない人もいます。そんな人にはなるべく、隣近所の人に声を掛けてもらうようにして、地域での孤立化、無縁化を何とか防ごうとしています。

役所からの情報は広報を通じて住民に知らされます。でも、個人的な意見になりますが、広報をまめに読んでいる人は、おそらく自分で何でもできるような人で、本当にサービスを必要としている人には、その情報が伝わっていないんじゃないかと思うんです。そういう人や、近所付き合いもなく地域で孤立している人にどうやって情報を届けるか、そういう人をいかに救済していくかが、今後の福祉行政のカギなのではないでしょうか。

みんなにお世話になってる

吉田清二さん
（93歳）

奥さんを早くに亡くし、平成9年に息子さんが亡くなってからは、ずっとひとり暮らし。

ひざ痛で歩くのが困難なため、月に1回の病院通いや散髪などはタクシーを利用し、買い物はヘルパーさんにお願いしています。ご飯は、自分で食べたいものがあるときは作ったりもしますが、お友達が3食分を、毎日作って自宅まで届けてくれるそうです。

「みんなにお世話になってる」

吉田さんはお話の最中、何度も何度もこの言葉を口にしていました。

町内には親戚はいませんが、近郊の町においとめいが住んでいます。

「『何かあったら連絡くれよ』って、言ってくれてるんです。連絡先はちゃんとここに貼ってあります」

指差した先には2人の連絡先のほか、緊急時の連絡先が書かれた紙がマグネットで止められていました。

「やっぱり、ひとりは寂しい。夜に眠れなくなることもあります。そんなときは朝まで眠れない。施設に入ろう、という気持ちもあるけれど、うまく人とやっていけるかという心配もあって…」

この日は、以前住んでいた草分地区の知人のお通夜があるとのこと。

「今日は、草分の人たちが連絡くれて、車で一緒に行こうって。迎えに来てくれる約束なんです」

吉田さんは最後に言いました。

「ひとりでいると、何でも自分でやらなきゃならない。まぁ、難しいことはできんけどね。でも、こうして生活できているんだから、今の年寄りは恵まれているよ」

取材を終えて

「核家族化」が言われて久しい現代。生活スタイル、家族形態は急激に変化してきました。その潮流の中で、高齢者世帯、独居高齢者の問題は必然ともいえる結果です。

人はひとりでは生きていけません。夫婦だけでも生きていけません。周囲の人とのつながりがあってはじめて「人間らしい」生き方ができるのではないでしょうか。今回の取材を通じ、そのことを痛切に感じました。

3世代が同居していた時代は過ぎ、子と親が離れて暮らすことが「普通」のことになった今、それに代わる存在が必要です。

ヘルパーなどの福祉サービス、行政の福祉施策も重要です。しかし、もっと身近なところに見守る「目」と、差し伸べる「手」があります。それは、昔ながらの「ご近所づきあい」であり、地域の中での人と人とのつながりではないかと思うのです。

地域包括支援センター担当職員に聞きしました

加藤靖之　生活支援員

ある民生委員が、いつも安否確認のため声を掛ける独居の方の様子を見ようと玄関前へ来ると、中から声がするものの、窓からは姿が確認できない。玄関、窓にも鍵が…。

そこで保健福祉課に連絡があり駆け付けると、部屋の中で動けなくなっている様子のため、本人に了解をもらって何とか鍵を開け、中に入ると床に倒れて動けない状態。体は衰弱しており、そのまま入院となりました。

民生委員の地域での見守りが命を救った素晴らしい事例ですが、これにはもう一つのエピソードがあります。

近所に住む方が、前日の夜に家が真っ暗だったことを心配し、その日にも電気がつかなければ、民生委員に連絡しようと思っていたというのです。

私たち行政職員ができることには限界があります。民生委員をはじめその地域に住む方々の、高齢者を見守るあたたかい「目」があることで、私たちには安心感がありますし、何よりも高齢者の皆さんに大きな安心を届けているのではないでしょうか。

白銀荘 80歳おめでとう！

右は建設当時（昭和8年）の白銀荘

「白銀荘」で思い浮かぶのは、吹上温泉保養センター「白銀荘」それとも、古い木造の「白銀荘」どちらですか？

吹上温泉保養センター白銀荘は上富良野町開基100年を記念して平成9年にオープンしましたが、その際に愛称を募集しました。町内外から312点の応募があり、昭和8年に建設された古い施設から名前を引き継ぐ形で選ばれたのが「白銀荘」でした。

そんな保養センターもオープンから15年。一方で、同じ敷地内でひっそりとたたずみ、今も風雪の中で、ゆっくりと時を刻み続ける「白銀荘」。

その、長い歴史を刻んだ白銀荘の建設から80年の節目を記念して、去る10月13日、「白銀荘80年思い出の集い」が保養センターで行われ、駆け付けた体育協会や山岳会などの関係者40人余りが、お酒を酌み交わしながら、往時の思い出を楽しく語らいました。

そこで今月は、白銀荘の歴史についてひも解いてみたいと思います。

80歳にカンパーイ!!

白銀荘と勝岳荘

大正15年の噴火により、木が根元から押し流された泥流の跡がスキー場として高い評価を得たことから、十勝岳は夏の登山だけでなく、スキー場としても注目されるようになりました。

中でも、世界的なスキーヤーである「ハンネス・シュナイダー」が昭和5年に十勝岳を訪れ、雪質のすばらしさと、変化に富んだゲレンデを絶賛したことからスキーヤーの注目を浴び、スキー客も増加します。そこで、昭和8年に道営のヒュッテとして建設されたのが「白銀荘」です。

しかし、白銀荘は宿泊できる人数も少なく、名士の迎賓用として使用されていたため、一般客は利用できませんでした。村民や一般登山者用の宿泊施設の必要性を感じていた当時の吉田貞次郎村長は、翌年に30人収容の一般用村営ヒュッテを建設します。

これが白銀荘の姉妹ヒュッテ「勝岳荘」です。勝岳荘は昭和34年に火災により焼失しますが、翌年には再建。同53年には白銀荘南側に移転併設され、白銀荘の一体施設となりますが、平成9年に取り壊されました。

白銀荘のお客さま

白銀荘には多くの著名人が訪れていますが、世界で初めて雪の結晶を人工的に作ることに成功し雪博士といわれる物理学者、中谷宇吉郎もその1人。

「雪の結晶は天から送られた手紙である」との言葉をのこした宇吉郎は、昭和8年の冬から3冬にわたり、白銀荘に泊まり込んで雪の結晶を観察しました。その著書の中で、白銀荘とそのときの様子をこう記しています。

「階下が食堂兼居室で、普通の山小屋の体裁に真中に大きい薪ストーヴがあって、二階が寝室になっている。この小屋の附近は不思議と風当りが少いので、下のストーヴの暖みに気を許し

白銀荘(左)と勝岳荘(右)（撮影年不明）

十勝岳山開き記念（昭和29年７月）

新町の成田政一さんに、白銀荘の思い出をお聞きしました

昭和28年か29年ごろから、山スキーを楽しむのによく泊まっていました。

土曜日の午後に仲間と、食材を持って、駅前から馬そりに乗って中茶屋まで。その後は、スキーに毛皮のシールをつけて、採掘場から硫黄を運ぶための鉄索があった跡を歩いて、夕方遅くに白銀荘に到着。みんなで夕食を作って、お酒を飲んで…。ウイスキーに外の雪や氷を入れてオン・ザ・ロック。

寝るのは2階で、10人も寝れば満員の広さ。行くときはいつも、込んでいました。寝具は備え付けの毛布があったので、それを使っていました。

次の日は三段山の森林限界ぐらいまで登って、あとは中茶屋まで、鉄索コースを通ってまっすぐに滑って降りるだけ。スキーを履いていてもひざまで埋まるほどふかふかで、転んだら最後、立ち上がるのがひと苦労でしたが、雪質は本当に最高でした。

当時の照明はランプ。冬の夜の白銀荘を写そうと思い立ちましたが、ランプの明かりでは暗い。そこで、カメラを外にセットし、全部の部屋でフラッシュをたいて写しました(下の写真)。当時のフラッシュは電球式で、光るのは1回だけの使い捨て。実は、お金がかかった写真なんですよ(笑)。

青年団で泊まりに行ったり、ボーイスカウトの指導者として子どもたちを連れて行ったりもしました。

あと、昔は、山開きは白銀荘でやっていましたね。懐かしいですね。

白銀荘が皆さんのおかげで取り壊されず残っている。うれしいことです。

白銀荘に勝岳荘を移転併設（昭和53年）

て、寝室の毛布にくるまっていると、自分たちにはこの小屋の二階が何処よりも安らかな眠りの場所である。」（中谷宇吉郎随筆集　樋口敬二編　１９９８年　岩波文庫）

「真暗なヴェランダに出て懐中電燈を空に向けて見ると、底なしの暗い空の奥から、数知れぬ白い粉が後から後からと無限に続いて落ちてくる。それが大体きまった大きさの螺旋形を描きながら舞って来るのである。そして大部分のものはキラキラと電燈の光に輝いて、結晶面の完全な発達を知らせてくれる。（中略）闇の中を頭上だけ一部分懐中電燈の光で区切って、その中を何時までも舞い落ちて来る雪を仰いでいると、いつの間にか自分の身体が静かに空へ浮き上って行くような錯覚が起きて来る。（中略）その感覚自身は実に珍しい今まで知らなかった経験であった。」（雪　中谷宇吉郎著　１９９４年　岩波文庫）

山小屋「白銀荘」のぬくもりと幻想的な雪景色が、そこにはありました。

白銀荘を次世代へ…

そんな白銀荘も、保養センターがオープンしてからは大きな役目を終え、取り壊しを待っている状態でした。

保存に向けては、平成９年には北海道山岳連盟からの陳情書が出され、上富良野十勝岳山岳会も保存への意思を固めながらも、具体的な進展はなし。

そんな中、上富良野町体育協会、上富良野十勝岳山岳会、上富良野スキー連盟の３者連名で、次のような内容の「旧白銀荘使用に関する要望書」が平成17年９月、町長に手渡されます。

「昔から旧白銀荘は（中略）多くの人々に利用されていました。また、町民の中にも十勝岳を愛するものがたくさんおり、十勝岳の魅力を語り合える場所として、冬期間の山スキー愛好者が集い休憩する場としてまた、山小屋の古い遺産を伝承することの意義を考え（中略）取り壊し計画が決定されるまで（中略）使用及び維持管理させていただくことを要望いたします」

これを受け、町と３者で「旧白銀荘使用に係る覚書」を交わすこととなりました。その後、山岳会、スキー連盟が主体となって募金を募り、寄せられた厚意は250万円超。この資金と提供を受けた補修資材により屋根、壁、窓などを補修し、現在の姿となっています。

道内の老朽化した山小屋が次々と姿を消す中、維持管理を買って出た３団体に敬意を表するとともに、たくさんの人たちの思いが詰まったこの古い山小屋が、少しでも長く、山を愛する人たちを見守っていてくれることを、願わずにいられません。

※本文中、一部敬称を略させていただきました。

友好都市提携の街

三重県津市を訪ねて

今年は、三重県津市と平成9年7月に友好都市提携を結んでから15年目の節目の年。

これを記念し、向山町長を団長とした16人の市民訪問団が、10月7日から9日まで津市を訪問しました。

1日目 10月7日

訪問団は三重県津市に向かい、前葉泰幸市長をはじめ市民交流課職員、市民の皆さんに迎えられました。

この日は年に一度の「津まつり」の最終日。市内は大勢の観光客でにぎわっていました。訪問団は、グループに分かれ、祭り会場の津市観光協会ブースへ。ここではかみふ産のじゃがいもやかぼちゃなどが販売され、売り切れるほどの人気ぶりでした。

お城西(しろにし)公園には、平成9年に町から贈られた「津市・上富良野町友好都市提携記念碑」があり、それを見た訪問団一行は、津市との絆を実感、感嘆の声を上げていました。

その後、向山町長は「津・郷土芸能の集い」のオープニングセレモニーに出席し、会場に詰め掛けた多くの市民の皆さんに向け、両市町の交流の歴史を振り返りながらあいさつ。樽酒の鏡割りにも参加して、津まつりファナルステージを見学しました。

2日目 10月8日

○高田本山専修寺訪問

親鸞聖人が開いた、通称「高田本山」で親しまれている高田本山専修寺。

数多くの伽藍(がらん)が建ち並ぶ境内は圧巻。中でも重要文化財に指定されている御影堂(みえいどう)は、9年にも及ぶ大修理を平成19年に終えたばかりで、見事のひと言でした。

御影堂前にて、記念写真をパチリ。

○松浦武四郎記念館訪問

次に訪れたのは松浦武四郎記念館。中野館長をはじめ、「松浦武四郎生誕200年の会」の三好会長や、「松浦武四郎友の会」の飯田会長の歓迎を受け、館内を案内していただきました。

松浦武四郎は三重県が生んだ偉人。「北海道」の名付け親でもあります。記念館には、多くの重要文化財や三重県有形文化財が収蔵され、武四郎に関する調査研究が行われています。

このほか、十勝岳噴火の泥流被害からの復興に尽力した吉田貞次郎村長の生家や、伊勢神宮も訪れました。

町長企業訪問

①

②

③

④

一方、向山町長は地元の農作物ＰＲのため、津市内の企業４か所を訪問しました。

写真①　ランの栽培を手掛ける赤塚植物園。わが町の観光の売りである「花」の栽培について、指導協力を依頼。

写真②　和菓子・洋菓子を販売する株式会社刀根菓子館。あんに使う小豆は十勝産とのこと。かみふも良質な小豆の産地であることをアピール。

写真③　株式会社東洋軒。松阪牛入りのブラックカレーが目玉商品で、かみふらのポークに注目が。「豚カレーも試してみたい」との言葉をいただきました。

写真④　肉まん・あんまんでおなじみ井村屋グループ株式会社。保存が利く、災害備蓄用のようかんを販売中。原料の小豆にかみふ産をＰＲ。

3日目　10月9日

○安東小学校訪問

すがすがしい秋晴れのもと、上富良野西小学校と姉妹校提携している安東小学校へ。ラベンダーの紫色に染められた子どもたち手づくりの歓迎看板と、児童と先生約150人の暖かい拍手に迎えられ、一行は大感激。

槌谷校長先生と林児童会長からの歓迎の言葉と、お土産として伊勢型紙しおり、児童が丹精込めて育てたお米「安東米」をいただきました。

歓迎のお返しに、訪問団からはラベンダーの匂い袋、かみふ産の小麦を使ったクッキーを贈りました。

校舎には上富良野西小学校との交流の写真が展示してあり、一行は小学校を通しての交流の芽も、着実に育ってきていることを実感していました。

学校の前庭には上富良野開拓の父・田中常次郎の碑もありました

児童が育てた「安東米」のプレゼント！

○前葉市長表敬訪問

その後、津市役所にて前葉市長を表敬訪問。訪問歓迎式の席上、両市町長は、これまでの交流の歴史を踏まえ、津市と上富良野町が今後もさまざまな形で交流を進め、絆を深めていくことを確認し合いました。

訪問団は、津なぎさまちから高速艇に乗り、津市の皆さんの暖かい見送りを受けながら、津市を後にしました。

今回の訪問では、自分たちの祖先のあゆみと、現在の友好の軌跡を確認できた旅となりました。

災害時の情報発信に関する相互応援協定調印式

10月9日、津市役所において「災害時の情報発信に関する相互応援協定書」の調印式が行われました。

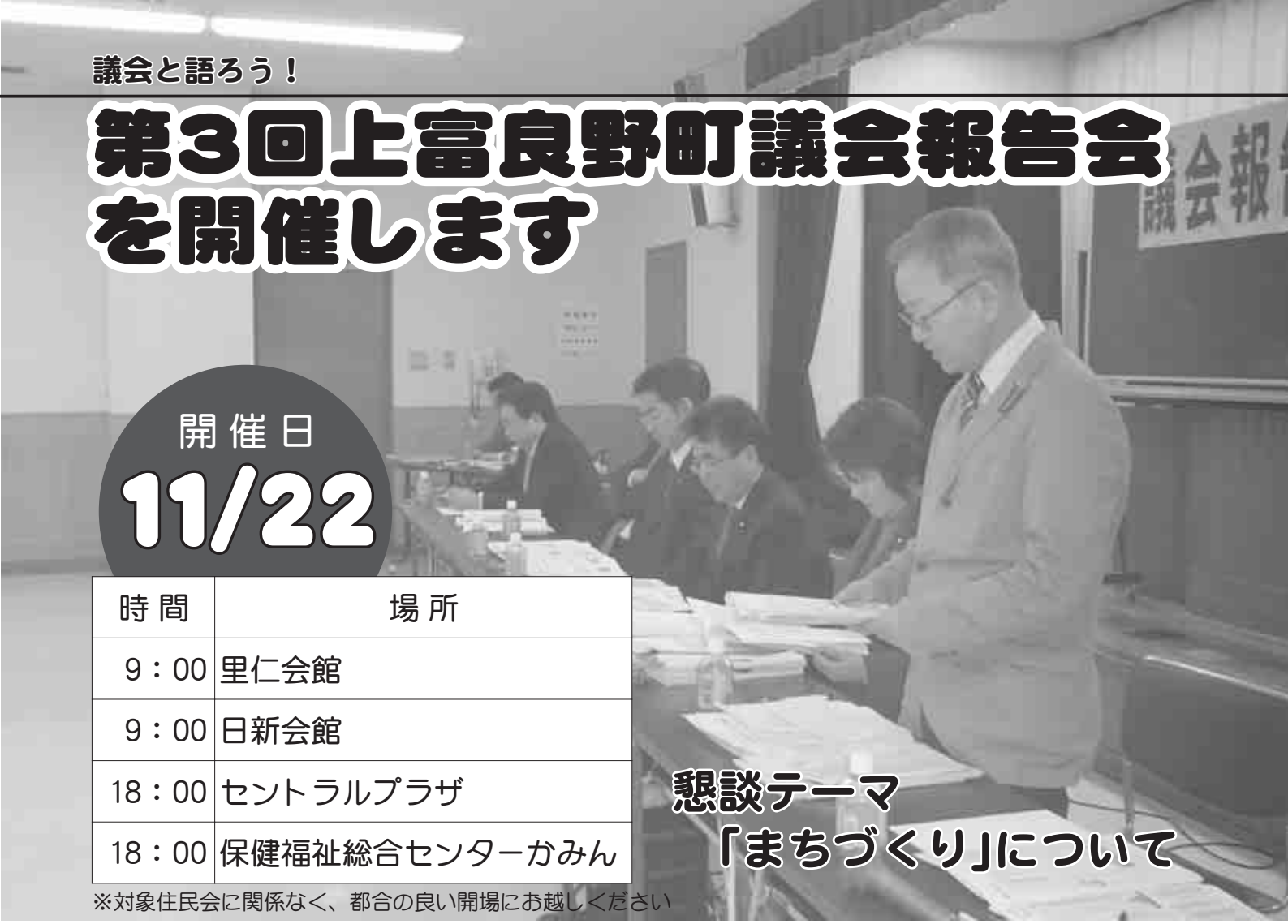
この協定は、大規模災害などで通信機器が故障したり、電話回線が寸断されるなどで情報発信ができなくなった場合、被災していない方の職員が、衛星電話などを利用して最新の被災状況や避難場所などを聞き取り、共同設置した防災ブログに書き込むことで、迅速に正確な情報を住民に届けることを目的としています。

向山町長は「町民の安全・安心を確保する手段として活用したい」と話し、前葉市長と防災への取り組み強化について確認しました。

※本文中、一部敬称を略させていただきました。

議会と語ろう！

第3回上富良野町議会報告会を開催します



開催日
11/22

時間	場所
9：00	里仁会館
9：00	日新会館
18：00	セントラルプラザ
18：00	保健福祉総合センターかみん

※対象住民会に関係なく、都合の良い開場にお越しください

懇談テーマ「まちづくり」について

上富良野町議会では、町民の皆さんに議会での活動や町行政の動きなどを広く知ってもらい、議会へ直接意見をいただく機会として、議会報告会を開催しています。

今年度は、11月22日に4か所で開催します。多くの方の参加をお待ちしています。

昨年の議会報告会では・・・

昨年は、午前・午後・夜間の3回、各2か所で6回の報告会を実施しました。79名の参加があり、設定されたテーマだけでなく、さまざまな町づくりについての意見や質問をいただき、出席議員と積極的な意見交換をすることができました。

また、設定懇談テーマの「議員定数と報酬について」では、議員定数のあり方と、議員個人の取り組みについて活発な意見交換がなされ、議会運営のためにはどの程度までの定数が必要なのかなど、これからのまちづくりに向けての考え方が話し合われました。

報告会は設定のテーマだけでなく、どんな内容でもざっくばらんに話せる雰囲気で行われていますので、誰でも気軽に参加できます。

皆さんの意見で、さらに住み良いまちにしましょう！

問合せ　議会事務局　☎㊺6992

こんな意見がありました

- TPP問題は重要で、農業の活性化を議員の力で何とかしてほしい
- 見晴台公園の整備と運営の改善について、中心街に誘導できるような施策や利活用を
- 千望峠を積極的に活用し、観光振興を
- エゾシカ対策として、駆除とシカ肉の活用を
- 日の出公園の整備と利活用、観光振興について
- 予約乗合タクシーの利用状況と今後の継続について
- 移住定住対策について

カメラ見てあるき

10/5 新しい家族を探して 犬・猫譲渡会

個人ボランティアとして活動している高橋さんと被災地の猫 サンちゃん

10月5日から7日まで「洋風民宿 ひつじの詩」で譲渡会が行われました。譲渡会とは、保健所などで保護された犬・猫の里親を探す場。この日は犬2匹、猫12匹で、中には東日本大震災で保護された犬・猫も。訪れた方にはリストを見てもらい、気に入れば正しい飼い方の説明をしてから実際に会わせますが、お届けは後日。引き受けにはワクチン代などがかかります。

主催者で、道の動物愛護推進委員の高橋直子さんは「できる限り人の都合で殺処分にしたくないとの思いで活動しています。昔ながらの飼い方ではなく、動物に合った飼い方で、飼い主とペット、両方が楽しく暮らしてほしいです」と思いを語ってくれました。

譲渡会は定期的に開催。ひつじの詩HPにあるブログで確認できます。

10/6 この先も安全運転で 交通安全合同キャンペーン

上富良野ライオンズクラブと上富良野町生活安全推進協議会女性部による交通安全キャンペーンが、3連休初日の10月6日、国道237号線の見晴台公園向かいの駐車帯で行われました。

総勢60人が参加して、交通安全旗波作戦と啓発物資の配布で安全運転を呼びかけました。

10/6 秋本番 かみふらの十勝岳 紅葉まつり

10月6日から8日まで見晴台公園ほかで開催されました。

41回目を数える今年は、町内の宿泊施設では、お客様へのプレゼントのほか、記念品がもらえるスタンプラリーも。見晴台公園会場では抽選会や野菜の直売のほか、地元産のじゃがいもなどの無料試食サービスもあり、来場者は秋の味覚を満喫していました。

10/8 体育の日には 歩こう会

昨年より距離は短いけれど、上り坂が大変

町民ふれあいスポーツ大会実行委員会主催の町民歩こう会が10月8日の「体育の日」に行われました。

コースは白金温泉駐車場から白銀荘までの約8㎞で、上り坂が多い道を参加者50人がお互いに励ましながら、無理のないペースで歩きました。

この日は雲ひとつない秋晴れで、十勝岳もくっきり。紅葉も見ごろで、目にも楽しい道のりに参加者からは「きれいだね」とうれしそうな声も。

途中、望岳台などで休憩を挟みながら、昼すぎには全員が無事に白銀荘到着。「やっと着いた」「疲れた～」と息を切らせながらも、皆さん満足そうな笑顔が印象的でした。

10/13 本を無料で大放出！ 図書館まつり

図書館まつりが、10月13日に公民館で行われました。

ふだんは見られない、繊細な造りの仕掛け絵本をはじめ、読書コンクールの感想画の展示、絵本の読み聞かせ、折り紙でカルガモの親子を作るなど、楽しい催し物が盛りだくさんでした。

中でも大人気だったのが本のリサイクル。図書館の本が無料で、しかも冊数制限なしでもらえるため、始まる前から60人以上の大行列。開場後はバーゲンセールのように、一斉に古本コーナーへ。提供された2千100冊の中からお目当ての本を手に、皆さんうれしそうな顔をしていました。

女性向けの雑誌や児童書・絵本は大人気

10/20

廃校は間近でも、老いも若きも、みんなで盛り上がった東中中学校学校祭

第65回東中中学校学校祭が、10月20日(土)に行われました。

廃校を2年後に控え、全校生徒は10人。人数は少ないけれど、地域と一体となって学校祭をつくるという思いから決めたテーマは「『和』～新しい扉を開く」。

住民会のふれあいサロンも兼ねて行われたこともあり、学校の体育館には高齢者をはじめ、大勢の地域の方が訪れました。

最初のプログラムは、おなじみの人気テレビ番組「笑点」ならぬ「笑店」。地域ネタあり、中学生らしいボケありで、大きな笑いを誘っていましたが、なぞかけではこんな一幕も。

夏休みとかけて
東中中学校ととく
その心は…
どちらも終わりが切ないでしょう

何だか胸にジーンときました。

その後は、殺陣(たて)や歌のステージ、元気いっぱいのダンス発表があり昼食。振る舞われたのは、地域で採れた野菜でPTAのお母さんたちが作った豚汁と、特製のお弁当。これは既製品ではなく、子どもたちが自らおかずを決めて業者に発注したもので、お年寄りもおいしそうにほおばっていました。

ご飯を食べたら腹ごなしということで、景品ありの縁日が…。

ついたての間を飛んで、一瞬だけ見えるモノを当てる「何でしょう？　ホイホイ‼」では小さい子はすぐに当てるのに、なぜか(?.?)お年寄りが大苦戦！　「見えない」「わからない」、答えても「ハズレ」を繰り返す珍な光景は、周囲の人だけでなく当の本人も笑ってしまうほどで、笑いの連鎖反応が起こっていました。

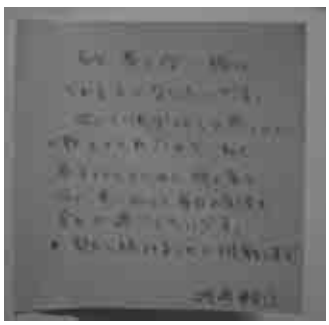
最終のプログラムは合唱。PTAに続いて会場全体での校歌斉唱。在校生から数十年前の卒業生まで、全員が声を合わせて歌いました。

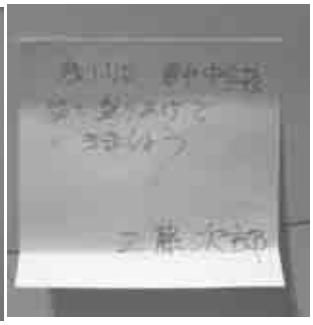
最後には、来場者それぞれの「挑戦」を披露。これは学校祭のテーマを大きく書いた模造紙に来場者各自の「頑張りたいこと」をふせんに書いて貼ってくださいと最初にお願いしていたもの。

最初から、最後の来場者の見送りまで、すべてに登場した10人の生徒たちは大忙しでしたが、アットホームな雰囲気の中で「みんなでつくる学校祭」の目的は十分果たせたと思います。

地域の見守りとして独自に「子ども110番の家」をいち早く取り入れた東中地区。今回の学校祭を見て、地域全体で学校を支えているんだな、と改めてそんな印象を受けました。

1期生の男性は「学校がなくなるのはやっぱり寂しいねぇ」とポツリ。残された時間、生徒たちにはたくさんの楽しい思い出ができますように…





たくさんの「挑戦したいこと　頑張りたいこと」が掲げられていました。中には「かめんらいだーになりたい」という壮大な夢への挑戦も…

カメラ見てあるき

10/14 後藤画伯 画業60周年にたくさんの祝福

後藤純男画伯の画業60周年と後藤純男美術館開館15周年の記念祝賀会が10月14日、プラザ富山で行われ、200人余りがお祝いに駆け付けました。

途中、現在までを記録したスライド上映もあり、「違いのわかる男」ネスカフェ・ゴールドブレンドのCMシーンが流れると会場からは歓声が…。

たくさんの人から、たくさんの祝福の声が、画伯に届けられていました。

また、記念として町に作品が贈られることとなり11月3日、日本画「春映大和」を贈呈いただきました。

10/21 古い消火器ありませんか？ 消火器無料点検

消防署防災車庫で消火器無料点検が行われ、102人が訪れました。

消火器の薬剤が固まったり、サビや変形がないか確認し、薬剤が10年経過するなど古くなったものは、有料で交換もされました。中には昭和40年製造の消火器をはじめ、使用期限を大幅に過ぎた消火器があり、消防士が「使用すると爆発する可能性があるので、発見できてよかった」と胸をなでおろす場面も。古くなった消火器はその場で廃棄してもらい、新たに購入する方も多く見られました。

会場では「おしるこ」も振る舞われ、寒空の下、訪れた人は温かさにほっとした表情を見せていました。

防火衣を着て消防車と写真撮影もできました

10/26 第29回上富良野町福祉大会

上富良野町社会福祉協議会主催の上富良野町社会福祉大会が、保健福祉総合センターかみんで行われました。

長年、社会福祉に貢献した個人・団体の表彰のほか、上富良野訪問看護ステーションの松田久美子所長より、「介護に疲れていませんか」をテーマに講演が行われ、訪問看護ステーションや介護保険など福祉制度の仕組み、困ったときはどうするかなどが、分かりやすく話されました。

小・中学生に福祉に関心を持ってもらうために募集した福祉作文の表彰もあり、入選した児童・生徒11人の作文発表がありました。自分の「おおきいおばあちゃん」の介護を通じて、素直な感想をつづった作文もあり、出席者はしみじみと聞いていました。

堀内会長から福祉作文入賞の表彰状が渡されました

10/27 みんなでわいわいハロウィンパーティー

本来の31日には少し早いですが、小学生を対象に公民館で行われました。

ハロウィンについての説明の後、グループに分かれ、最初はかぼちゃをくり抜いてお化けかぼちゃ「ジャックランタン」づくり。子どもたちは中身を出すのに悪戦苦闘していました。

続いて、英語指導助手グレン先生の進行で、巨大かぼちゃを使ったパンプキン福笑いや、お化けを模した玉を、目隠しをして棒で退治する「ピニャータ」などのゲームを楽しみました。

最後は一人ずつ英語で「トリック・オア・トリート(お菓子をくれないといたずらするよ)」をグレン先生に言って、お菓子をもらっていました。

このほかのできごとは、上富良野町行政ホームページでも掲載中！　アドレス http://www.town.kamifurano.hokkaido.jp/

生涯学習情報

問合せ・申込み
教育振興課社会教育班
☎㊺5511

おやこ元気アップスクール

大人向け、子ども(小学生)向け、2つのプログラムを用意しています。

日時・内容
11月18日(日)　受付開始9時30分
○大人プログラム　10時～11時40分
講演　「夢とスポーツ」
講師　富良野木村スキースクール
代表　木村公宣氏
○子どもプログラム　10時～12時
①ヒップ・ホップ・ダンス(体操)
②スポーツ&レクにチャレンジ!
場所　社会教育総合センター
参加料　無料

教育講演会

町PTA連合会主催の「子どもの前向きな心を育てるヒント」(予定)をテーマとした講演会が開催されます。

日時　11月28日(水)　開演18時30分
場所　上富良野中学校体育館
講師　北海道教育大学札幌校準教授
平野直己　氏
申込期限　11月16日(金)

初級英会話教室

英語指導助手のグレン・オグデンを講師に開催します。

日時　11月21・28日、12月5・12・19日　いずれも水曜日の19時～20時
場所　社会教育総合センター
対象　中学生以上(中学生保護者同伴)
定員　20名
参加料　無料(内容により材料費などがかかる場合があります)
申込期限　11月19日(月)

パソコン教室

上富良野高校学校開放講座と公民館講座の連携講座を開講します。パソコンを使っての年賀状作りをめざしてみませんか。参加料は無料です。

日時　11月26日(月)・27日(火)、12月3日(月)・4日(火)　19時～20時
場所　上富良野高校2階パソコン室
対象　18歳以上のパソコン初心者
定員　30名
受付期間　11月14日(水)～20日(火)
申込み・問合せ
上富良野高校　☎㊺4447

町民玉入れ大会

玉入れで、いい汗流そう!

日時　12月2日(日)　受付8時30分
場所　社会教育総合センター
種目　小学生の部、中学生の部、女性の部、一般の部
チーム編成　1チーム10名以内(監督含む)で、競技選手は6名
参加料　1チーム1千円(保険代含む)
申込期限　11月26日(月)

上富良野町成人式

対象者には、12月中旬にハガキでご案内します。

日時　平成25年1月13日(日)
受付12時30分　式典13時30分
内容　式典、記念撮影など
場所　保健福祉総合センターかみん
対象　平成4年4月2日から平成5年4月1日生まれの方
その他　町外にお住まいで、上富良野町の成人式出席を希望の方は、11月26日(月)までにお申込みください。

上川地方発明くふう展入賞者

平成24年度上川地方青少年発明くふう作品展(旭川科学館で10月6～8日開催)に、上富良野町から次の作品が入賞されました。

◘旭川市博物館科学館長賞　(写真1段目)
平沢伴明(江幌小4年)「どんぐり貯金箱」

◘旭川商工会議所会頭賞　(写真2段目)
丹野葵木(上富西小5年)「動物園のペンギン館」

◘旭川発明協会長賞　(写真3段目)
中田渓心(上富小2年)「輪ゴム鉄ぽう」

◘上川・旭川創意くふう教育研究会長賞　(写真4段目)
林小晴(上富小4年)「ジェットコースターゲーム」

◘英知国際特許事務局長賞
倉谷悠立(江幌小5年)「がびょう取り」

◘NHK賞
西塚大悟(上富西小6年)「自動うちわあおぎ装置」

◘旭川ゾンタクラブ会長賞
増田久遠(上富西小3年)「ホラーハウス」

◘北海道新聞社賞
村上溜葵(上富小1年)「かば」

児童虐待を当事者だけの問題で済ませずに、
地域で、社会全体で解決していきましょう

11月は 児童虐待防止 推進月間 です

気づくのは あなたと地域の 心の目

「児童虐待」と聞くと、身近なできごととして想像しにくいかもしれませんが、「不適切な子育て」と考えてみると…

あなたには「もしかして?」と思えることはありませんか?

子どもに暴力をふるってはいなくても、「無関心」ではありませんか?

それは、育児放棄(ネグレクト)かもしれません。

言葉で脅したり、子どもを無視する、不潔な環境に置くのも虐待のひとつです。

子どもの身体と心が傷つく前に気付いてあげてください。

気になる子がいたら…
あなた自身が子育てに悩んでいたら…
ご連絡ください。

❑保健福祉課 ☎㊺6987
❑子育て支援センター ☎㊺6501
❑旭川児童相談所 ☎0166-23-8195
❑児童相談所全国共通ダイヤル ☎0570-064-000

町では児童相談所、保健所、警察、消防、学校、幼稚園、保育所、民生児童委員などと「上富良野町要保護児童対策地域協議会」を組織し、連携・協力して児童虐待の防止に取り組んでいます。

平成24年10月1日から施行
障害者虐待防止法

「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」(障害者虐待防止法)には、虐待によって障がい者の権利や尊厳がおびやかされることを防ぎ、障がい者の安定した生活や、社会参加を助けるための取り組みなどが定められています。

障害者福祉施設の職員から暴行を受けたり、勤め先から賃金が払われなかったりするなど、さまざまな事件がニュースで取り上げられています。

障がい者が暮らす家庭でも、家族や親族、同居人などの養護者による虐待が行われている場合もあります。

このような虐待が発生する背景には、障がいの特性に対する周囲の人の知識や理解の不足や、障がい者がいる家庭や福祉施設の閉鎖性などがあるといわれています。

虐待は閉鎖的な環境で発生しており、虐待を受けている障がい者自らが訴えることができないこともあるため、早期に発見するためには、周囲の人たちからの通報が不可欠です。

障がい者に対する次のような虐待を見たり、ご自身が虐待を受けた場合は、通報や届け出をしてください。

養護者による虐待
身の回りの世話などを行っている家族や親族、同居人などからの虐待

施設の職員などによる虐待
障害者福祉施設や障害福祉サービス事業所、相談支援事業所の従事者からの虐待

使用者による虐待
障がいのある方を雇用する事業主、工場長、労務管理者などからの虐待

障がい者の虐待に関する相談、通報、お問合せは左記へ。

保健福祉課福祉対策班
(保健福祉総合センターかみん内)
○平日の8時30分~17時15分 ☎㊺6987
○夜間、土・日曜日、祝祭日
(特別養護老人ホーム「ラベンダーハイツ」へ転送) ☎㊺6533

メモ
児童虐待は身体的虐待、心理的虐待、放棄・放任、性的虐待の4種類、障がい者虐待は、これに経済的虐待(勝手にお金を使ってしまうなど)を加えた5種類に分類されます。

福祉

納め忘れはないですか？介護保険料「普通徴収」

65歳以上の方の介護保険料の納付は、原則として年金から天引き(特別徴収)されますが、次に該当する方は、送付される納付書により納める(普通徴収)こととなっています。

- 年金が年額18万円未満の方
- 年度途中で65歳になった方
- 年度途中で所得更正などにより、介護保険料年額が変更になった方
- (独法)福祉医療機構の年金担保貸付事業(公的年金担保融資)を利用している方
- 年金の現況届の提出が提出期限に遅れた方

この場合、普通徴収額と特別徴収額を合わせた額が、その年度の介護保険料となりますので、二重徴収とはなりません。

今一度、お手元の納付書、領収書により納め忘れがないかご確認ください。

また、口座振替をご利用いただくと、納め忘れがなく便利です。ぜひご利用ください。

問合せ 保健福祉課高齢者支援班 ☎㊺6987

保健

献血にご協力を！

12月5日(水)に献血車が来町します。

10時～12時 スーパーダイイチ駐車場

13時～15時 役場正面玄関前

15時15分～16時30分 JAふらの上富良野支所駐車場

問合せ 保健福祉課健康推進班 ☎㊺6987

ごみ

生ごみ収集の休止にもご理解とご協力を！

生ごみを処理している富良野広域環境衛生センターの施設点検のため、次の日程で生ごみ収集を休止します。

11月16日(金) 緑コース
富町・大町・本町・宮町・南町(3丁目除く)

11月17日(土) 赤コース
緑町・旭町・新町・東町・向町・丘町・桜町・南町3丁目・東中市街地

問合せ 町民生活課生活環境班 ☎㊺6985

研修・講習会

要約筆記体験研修

聴覚障害者のコミュニケーション手段の一つ「要約筆記」を体験し、学んでみませんか？

日時 12月1日(土) 10時～14時45分

場所 中富良野町農村環境改善センター

参加料 無料

申込期限 11月28日(水)

申込み・問合せ 富良野地域生活支援センター ☎㉒3933 FAX㉓2828

中小企業大学校旭川校研修会

中小企業大学旭川校では、研修会を開催します。

○次代へ伝える技術・技能伝承講座
12月3日(月)～4日(火)

○「コミュニケーション能力」養成講座
12月5日(水)～7日(金)

○問題を「見つける力」「解く力」
12月10日(月)～12日(水)

申込み・問合せ 中小企業大学校旭川校 ☎0166-65-1200

平成24年度消防設備士講習

工事整備対象設備等の工事又は整備に関する講習が行われます。

講習区分・日時
警報設備 平成25年2月14日(木)
消火設備、避難設備・消火器 平成25年2月15日(木)

場所 旭川市勤労者福祉会館

受講料 7千円(講習区分ごと)

申込期間 11月19日～12月14日

申込み・問合せ (社)北海道消防設備協会 ☎011-205-5951

今月の年金のお話

～控除証明書の送付～

国民年金保険料は所得税、住民税の申告において、社会保険料控除の対象となります。

その年の1月1日から12月31日までに納付した保険料が対象で、過去の年度分や追納保険料なども含みます。

控除を受けるには、納付を証明する「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」か「領収書」の添付が必要です。

平成24年中に国民年金保険料を納付された方には、「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」のはがきが11月か、来年2月の上旬に日本年金機構本部から送付されます。

年末調整や確定申告の際に必要ですので、捨てずに大切に保管してください。

●11月上旬に送付される方
平成24年1月1日から9月30日までの間に国民年金保険料を納付された方
※11月に送付された場合は、来年2月には送付されません

●来年2月上旬に送付される方
平成24年10月1日から12月31日までの間に、今年初めて国民年金保険料を納付された方

控除証明書についての照会は、旭川年金事務所か控除証明書のはがきに記載の専用ダイヤルにお問合せください。

問合せ
旭川年金事務所
☎0166-27-1611
控除証明書専用ダイヤル
☎0570-070-117
町民生活課総合窓口班 ☎㊺6985

法務大臣表彰

松浦（まつうら） 正子（まさこ） さん

大町１丁目 （72歳）

昭和63年から24年の永きにわたり、保護司として罪を犯した人々の改善更正と犯罪の予防に尽力された功績により、平成24年９月28日付けで法務大臣表彰を受けられました。

住宅

住宅リフォーム、住宅設備機器の導入費用助成

町では、平成23年度から25年度までの3年間、省エネルギー・新エネルギー・バリアフリー化にかかわる住宅リフォームと、住宅設備機器などの導入費用の一部を助成しています。

対象となる条件

・上富良野町の住民で、町内に住宅を所有し居住していること

・住宅の所有者やその住宅に同居している方に、町税や町に納付すべき公共料金などの滞納がないこと

対象工事 下段のとおり

申込期間 今年度分は平成25年2月28日(木)まで

その他 広報かみふらの6月10日号に詳細を掲載していますので、対象工事や助成額についてはそちらをご覧いただくか、町内の建築業者または左記へお問合せください。

申込み・問合せ

建設水道課建設班 ☎㊺6981

町民生活課生活環境班 ☎㊺6985

※助成金については、上富良野町商工会が発行する小規模商品券(額面500円、有効期限3か月)をお渡しします。

対象工事	主な工事例	助成額
住宅改修工事	窓・壁・天井・玄関などの断熱改修、手すり設置や部屋の段差解消などのバリアフリー化、節水型トイレへの交換など	費用の10%。太陽光発電は1kwあたり5万円。上限は工事内容により2～20万円
住宅設備導入工事	太陽光発電システム、地中熱ヒートポンプ、ガスエンジン給湯器、ＬＥＤ照明(3万円以上)などの設備を導入する工事	
耐震改修工事	昭和56年５月31日以前に建設し、構造耐力基準に適合していない住宅の耐震改修工事	上限30万円

交通安全

冬の交通安全運動

冬の交通安全運動が実施されます。これからの季節は降雪や凍結路面によるスリップ事故が多発します。自動車を運転する際は路面状況の変化に備え、スピードを控えめに、余裕のある運転を心がけてください。

また、夕方以降の外出には反射材などを身に付けたり、黒っぽい服装を避けるなど、ドライバーが自分の存在に気付きやすくすることも大切です。

なお、靴に貼り付ける夜光反射材を、役場町民生活課窓口において無料で配布していますので、ぜひご活用ください。

実施期間

11月15日(木)～24日(土)

運動の重点

○子どもと高齢者の事故防止
○夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の事故防止
○交差点の事故防止
○飲酒運転の根絶
○凍結路面などのスリップ事故の防止

問合せ 町民生活課生活環境班 ☎㊺6985

特許 SODリキッド工法
健康住宅 森呼吸（しんこきゅう）の家
お金には代えられない
健康を第一に考えた家づくり。
家族の皆が健康で快適な
空間を常に考え提供します。

新築・リフォーム・アパート・倉庫・賃貸
北菱ハウス
お問い合せはお気軽にお電話下さい
☎0167-23-2511
本社 富良野市朝日町1番17号 23-3311 ホームページもご覧下さい
支店 上富良野町大町2丁目11番14号 45-3083 URL http://www.e-hokuryo.com

出張でタイヤ交換します！
今春、宣伝させていただいた出張タイヤ交換も、お客様へ大好評につき、今秋もやらさせていただきます。タイヤの積みおろしという最大の手間がなく、電話一本でお客様宅にてタイヤ交換。何と言っても値段の安さ。車１台1,800円(税込み)。普通乗用車以下に限ります。随時受付中！交換はお早めに。
コスモエンタープライズ（電話080-1977-2340）

わが家のアイドル

就学前までのお子さんを募集しています。
町民生活課自治推進班 ☎㊺6985

佐藤(さとう) あんじ(あんじ)ちゃん・夕晏(ゆあん)くん
（6歳2か月）（3歳6か月）

♡克彦さん・和美さんの子♡

活発で明るいあんじとお姉ちゃん大好きな夕晏は、「へんがお」したりして、お互いに笑わせ合っています。

これからも、仲良く明るく育ってほしいです。（和美さん）

島田(しまだ) 来輝(らいき)くん・優翔(ゆうと)くん
（4歳9か月）（2歳1か月）

♡豊さん・里子さんの子♡

お遊戯会やマラソン大会ではとっても頑張る来輝と、お兄ちゃんに優しくされて、ちょっとわがままな優翔。いつも戦いごっこをしてにぎやかです。これからも元気良く、優しい男の子に育ってほしいです。（里子さん）

●お詫び●
広報かみふらの10月10日号の「わが家のアイドル」の記事中、福田詩甫ちゃん・香杜ちゃんのメッセージ欄の名前に誤りがありました。正しくは「満恵さん」です。訂正してお詫びします。

みんなの伝言板

富良野広域情報

富良野市「富良野スキー場11月17日(土)オープン！」

今シーズンから全国のプリンスホテル系列のスキー場で「キッズフリープログラム」がスタート！

富良野スキー場では、小学生以下のリフト券やレッスン、レンタルが無料となるほか、「圧雪車体験乗車」や「雪上宝探し」の楽しい体験プログラムも用意しています。ぜひご家族でお楽しみください。

問合せ 新富良野プリンスホテル ☎㉒1111

南富良野町「カーリングに挑戦しませんか？」

空知川スポーツリンクスカーリング場が11月1日にオープンしました。

カーリングはトリノオリンピックで一躍脚光を浴び、その魅力は見る人を虜にしました。「氷上のチェス」または「氷上のビリヤード」とも呼ばれ、知的で奥の深いスポーツです。

ぜひ、あなたもカーリングに挑戦してみませんか？

問合せ 空知川スポーツリンクス ☎㊸2449

中富良野町「中富良野ワインかおりのあか・めぐみのしろ」

さわやかな風と緑の森が育てた、セイベル種100%のワインです。みずみずしくフレッシュな口当たり、すっきりとした中にもきめ細やかな喉ごし、中富良野の彩り豊かな景色がまぶたに浮かびます。軽く冷やしてどうぞ…。

町内および沿線で販売しています。

問合せ なかふらの酒造振興会 ☎㊹2213

占冠村「今年のしばれはどれくらい？」

道の駅「自然体感しむかっぷ」のポケットパークには大きな寒暖計が設置されています。寒暖計には、その年の占冠村の最低気温が表示されます。今シーズン冬の気温は何度になるのでしょうか!?

かわいい雪ダルマが乗っている寒暖計。記念撮影にいかがでしょうか。

問合せ ＮＰＯ法人占冠・村づくり観光協会 ☎㊴8010

人めぐり逢

谷口(たにぐち) 孝子(あつこ)さん

昭和18年生まれ
北町2丁目

先月号の蛇岩美奈子さんからめぐって、谷口孝子さんにお逢いしました。蛇岩さんとは15年ほど前に女性学級で知り合い意気投合。現在は彼女が主宰するパッチワークサークルに通っています。

自宅でも家事の合間に作るパッチワークは、お友達やご兄弟にプレゼントすることが多いそうで、「こういうのが似合うかな？とか考えたり、その人が喜んでくれているのを想像しながら作るのが楽しいんですよ」と笑顔で、本当に楽しそうに話す様子に、温かい人柄が垣間見えました。

もともと裁縫が好きだったこともあり「娘が小さいころは、着せる服はすべて手作りしてました。なかなか子どもに恵まれずにやっとできた子で、可愛くてしょうがなかったのもあるんですけどね」。長女の恵子さんは、友達から「服、かわいいね」とうらやましがられるほどだったとか。

一方、編み物には「息子のセーターを編んで、いざ着せようとしたら頭が入らなくて…(笑)」とのおもしろ悲しい懐かしのエピソードも。

初対面の私にも可愛い小物入れをくれた谷口さん。これからも自作のパッチワークで、たくさんの人に笑顔を届けてほしいな、と思いました。

かみふっこキャラリー

豊澤 希望（とよさわ のぞむ）くん
（平成18年生まれ）

作品名
『ぶーらりぶらりみのむしさん』

「みのむしの頭の所を折るのが大変だった」と、ちょっと緊張した表情で見せてくれました。目や口も細かく描かれていました。

「にっこり笑っている顔だよ」とみのむしに負けない笑顔で頑張った点を教えてくれました。飾ると揺れて、みのむしも楽しそうです。

関口 彩花（せきぐち あやか）ちゃん
（平成18年生まれ）

－ わかば愛育園 －

冬ですっ！　暖房の季節なので…
～かみふらのファイヤーマンからのメッセージ～

十勝岳も雪化粧をし、吹き抜ける風にも冬の気配を感じる今日このごろ、暖房を使い始めたご家庭もあるのでは？　ちょっとした不注意で火災は発生します。そこで今月は、私ファイヤーマンから、ストーブなどの暖房機器による火災発生の事例と、冬の防火のポイントをお伝えします。

【暖房機器が原因で火災が発生した事例】

①寝るときにつけっ放しにした電気ストーブに、掛け布団が触れて出火。
②早く乾かそうとして石油ストーブの上に干していた洗濯物が、ストーブの付近に落下したため出火。
③灯油が切れ、ポータブルストーブの火を消さずに、給油を終えた燃料タンクを入れようとしたところ、タンクのふたがきちんと閉まっておらず、ストーブや周囲のマットに灯油がこぼれて出火。

【防火のポイント５か条】

その１　ストーブの付近に燃えやすいものを置かない。
その２　ストーブの上に洗濯物を干さない。
その３　給油は、必ずストーブの火が消えたのを確認してから。また、給油した後には、キャップがしっかり閉まっているか確認する。
その４　加熱による破裂・爆発の危険性があるので、暖房機器の付近にはスプレー缶を置かない。また、スプレーに含まれるガスに引火する危険性もあるため、ストーブの付近では絶対にスプレーを使用しない。

その５　暖房機器の取扱説明書を確認し、定期的にフィルターなどの清掃や点検をする。

問合せ　上富良野消防署指導係　☎㊺2119

食育の推進

エプロン姿の男たちが悪戦苦闘！「男の料理教室」

10月11日（木）、男の料理教室を開催しました。この教室はひとり暮らしの男性や、家族が長期不在になった時にもバランスのとれた食事が取れるよう開いています。この日は60代前半から80代までの11人が参加。

レシピは町の栄養士が提供し、栄養士とボランティアグループ「きららの会」の方が調理指導に当たりました。

この日のメニューはサンマのかば焼き、かぼちゃサラダ、根菜汁にご飯、デザートには酸っぱい味が懐かしい旭りんごでした。

ごぼうは「ささがき」、大根は「いちょう切り」、サンマはまず頭を落として内臓を出し、腹開きにして中骨を取るなど、慣れない包丁さばきにエプロン姿の「男たち」は悪戦苦闘。

しかし、出来上がった料理の試食タイムでは「サンマは切っているときはガタガタだったけど出来上がってみれば悪くないな」「南瓜は煮付けで食べることが多いが、サラダも美味い！」「汁物は具沢山なところが良い」など、自画自賛（？）の感想あり、レシピへのおほめの言葉ありの和やかな雰囲気のなか、野菜たっぷりのヘルシーメニューに満足いただけたようでした。

この教室は偶数月の第2木曜日午後5時から開催。次回は12月13日（木）です。料理はいつも奥さんまかせのお父さんも、ぜひご参加して、成果のほどを家族に振る舞ってみては？

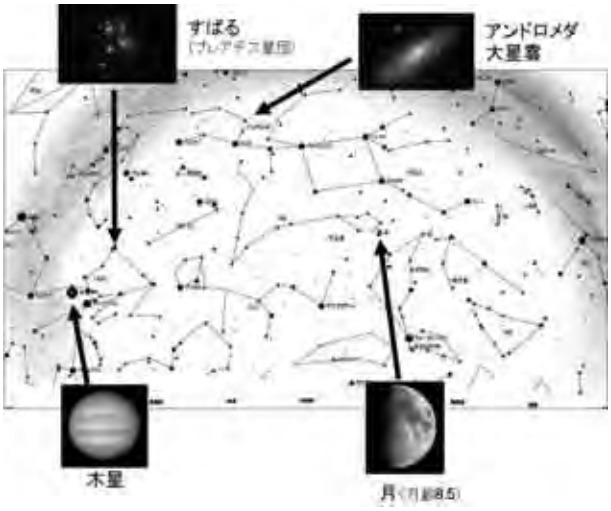
問合せ　保健福祉課健康推進班　☎㊺6987

星空のご紹介

問合せ
教育振興課
社会教育班
✆㊺5511

◉11月の上富良野の星空

今月の星空の図は11月22日午後7時ごろ、ちょうど次回の天体観望会の時間帯の南東方向の様子です。観望会で、実際に観察する予定の天体をご案内します。



☆木星☆

木星が見ごろを迎えています。木星は太陽系最大の惑星で、大きさは地球の直径の11倍もあります。チャレンジ天文台の口径20cmの大きな望遠鏡で見ると表面の縞模様や、木星の月に相当するガリレオ衛星もハッキリと見ることができます。

☆月☆

クレーターが一番ハッキリ見える上弦(じょうげん)のころになります。望遠鏡ではクレーターや山脈が大迫力で見ることができます。

☆アンドロメダ大星雲☆

われわれの銀河系のすぐ隣の小宇宙で、大きさ、形もよく似ている渦巻銀河です。隣といっても光のスピードで230万年もかかる、はるか彼方の天体です。

☆すばる☆

大変有名なおうし座の散開星団です。約100個の星の集団ですが、肉眼でも６～７個の星を数えることができます。望遠鏡で見ると青白い若い星の集まりであることがはっきりと分かります。

◉天体観望会

中西靖男氏を講師に、上富良野西小学校チャレンジ天文台で行います。参加料は無料です。教育振興課社会教育班へお申込みください。

日　時　11月22日(木)　19時～20時
内　容　月、木星、すばる、アンドロメダ大星雲など
　　悪天候の場合は、天体映像鑑賞会となります。
定　員　20名(中学生以下は保護者同伴)
申込み　11月19日(月)まで

たくさんの善意 ありがとうございました

町へ

◎千田美江子さん　10万円
◎多田隆さん　5万円
◎公民館友の会　5千円
◎上富良野町サッカー少年団育成会　サッカーゴール

町立病院へ

◎柿原勝美さん　5万円
◎山崎トヨ子さん　3万円

ラベンダーハイツへ

◎トントンガールズ　9,500円
◎中央婦人会　タオル173枚
◎三宮敏幸さん　デジタル一眼レフカメラ一式
◎磯松隆男さん　車いす1台
◎谷野秀吉さん　車いす1台

社会福祉協議会へ

◎伊藤廣一さん　5万円
◎瀬川勝和さん　5万円
◎村形八重子さん　5万円
◎たらればの会　1万6千円

感謝状贈呈

第34回かみふらの花と炎の四季彩まつりにご協力いただいた団体に感謝状を贈りました。

道路工業株式会社　様

■発行／上富良野町
■編集／町民生活課自治推進班
■印刷／協和印刷商事㈱

■ご意見・ご感想をお寄せください
〒071-0596
北海道空知郡上富良野町
大町２丁目２番11号
✆0167㊺6985　FAX0167㊺5362
http://www.town.kamifurano.hokkaido.jp/
jichi@town.kamifurano.lg.jp

● 人のうごき ●

平成24年10月31日現在
(　)は前月比

住民登録

人口　11,731人（－4）
男　5,883人（－7）
女　5,848人（＋3）
世帯　5,305世帯（＋3）

外国人住民 ※住民登録の内数

人口　27人（±0）
男　12人（±0）
女　15人（±0）
世帯　17世帯（±0）

10月26日　島津公園には冬の使者「雪虫」が…